

令和6年度 学校関係者評価報告書（まとめ用）

学校番号	12	学校名	静岡県立三島北高等学校	記載者	勝間田 浩文
------	----	-----	-------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	<p><b>基本的生活習慣の確立と心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の醸成</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を守るように心がけている生徒 95%以上※</li> <li>・整美委員会による環境美化週間の実施 各学期1回</li> <li>・生徒による生活キャンペーンの実施 各学期1回</li> <li>・挨拶をしっかりとやるよう心掛けている生徒 90%以上※</li> <li>・保健だよりの発行 月1回</li> <li>・健康観察アプリの活用率 90%以上</li> <li>・信頼できる先生がいる生徒 90%以上※</li> <li>・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒 95%以上※</li> <li>・図書年間貸出数（4～12月集計） 2000冊以上</li> <li>・生徒の満足度 90%以上※</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果の数字を見ると、先生方の指導も生徒も立派です。挨拶は家庭や社会の大人の責任が大きく、私たちも心したいと思います。学校全体として、悩み事、困り事を、気軽に先生方(担任に限らず)に相談できるような雰囲気ができると良いですね。</li> <li>・アンケート調査から「時間を守る」、「挨拶をしっかりとやるよう心がけている」生徒が90%以上であり、ほぼ学校全体で基本的な生活習慣が形成されていると考えられる。その根底には、信頼できる先生がいると回答した生徒が90%以上という学校の「教育的土台」がしっかりと存在していることが伺える。このような学校の風土は長い積み重ねによって、受け継がれてきたと伝統であると思われる。</li> <li>・時間を守る事や挨拶は人としての基本であり、概ね達成できているとの事である。その中で達成できていない生徒もいる様であるが辛抱強くコミュニケーションを取り指導を続けていただきたい。</li> <li>・体の健康と、心の健全は人にとって第一の基本であると思う。この取組が、家族や友人との大切な繋がりになる。又生徒が教員を信頼するというのは、学校生活の中では基本中の基本であり、今後の達成度の向上を願う所です。</li> <li>・健やかで知的な北高特有の人づくりの様子がわかりました。</li> <li>・中学生のお手本となる立派な生徒が多いと感じています。</li> </ul>

様式第5号

イ	<p>確かな学力と幅広い教養の育成に資する学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解を深める工夫をしている授業 90%以上※</li> <li>・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業 90%以上※</li> <li>・家庭学習時間平日平均 120 分以上※ 休日平均 200 分以上※</li> <li>・家庭学習時間平日平均 120 分以上※ 休日平均 200 分以上※</li> <li>・校内研修の実施 年3回以上（「学びの基礎診断」の結果分析を含む）</li> <li>・授業参観を年2回実施</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11 月に見学した研究の成果発表では、生徒の学習の独創性を大切にしている内容であった。発表時の生徒は真面目で、おとなしい印象であったがグループで対話しながら研究内容を深めていったのだろうと思われた。</li> <li>大学でもアクティブラーニングばかりやっているの、学生同士のグループ内でのコミュニケーションや討論の機会を確保し、自己主張と協力姿勢を習得することが大切だと思われる。ただ、新しい独創的なアイデアの成果をどうやって広め周知するか？という最後の（結論）点で「アプリの活用」が多くみられて、それだけでは安易な印象を受けて残念に思った。</li> <li>・生徒にとって家庭学習というのは学校での拘束時間から解放された自由時間であり、その中で生徒によりけりではあるが、その必要性を成績向上なのか、勉学の継続なのかは思いであり、やさしく指導願いたい。あまり強い指導は隠れた精神的反発も考えられ、学校側としては難しいところと察する。</li> <li>・生徒の理解を深めるための工夫など、先生方の努力に敬意を表します。家庭での学習時間を見ると、生徒はよく勉強をしているのだなととても感心します。曜日によって勉強しない（少ない）日があったり、普段は少なめで試験前には普段の二倍、三倍勉強するなど、メリハリもあってよいと思います。</li> <li>・主体性の育ちについて評価できました。</li> <li>・先生方の様々な工夫により、着実に生徒の学力が育まれていると思います。</li> </ul>
	<p>高い志と自立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に対する明確な夢や目標を持っている3年生 70%以上※</li> <li>・学校は適切に進路情</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の自己実現は、指導の根底に家庭環境の影響が大きく（大学でも）難しいと思ってきた。よって、アンケート調査において3年生の「夢や目標をもっている」</li> </ul>

ウ		<p>報を提供していると思う生徒 80%以上※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現に向けて努力している生徒 70%以上※</li> </ul>	A	<p>70%以上はかなり高い割合だと考えられる。日頃から、周囲の生徒同士や学校による進路情報の提供が行われている(個別指導に力を入れている)ことが伺える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標と達成状況が余り高い自己評価ではないが、私はよくわかりませんが、我々の時代と違う所があり、学校生活の中で明確に進路目標を持っている生徒さんがどれくらいいるのか。もちろん多勢いるとは思いますが、まずは高校生生活の中で考えるということもありかと思えます。</li> <li>・高校生の段階で、明確な夢や目標と、それを実現するための進路に巡り合えるのは大変な幸運だと思います。とりあえず受験大学や学部学科が選べれば十分かと思えます(モラトリアム)。</li> <li>より多くの職業を知り、働くことの喜びや尊さを知ってもらいたいです。</li> <li>・志の育みに関する取組にやや不足を感じます。真のプロフェッショナルや一流人とのさらなる交流機会、日本や世界の偉人について学ぶ機会の創出が望まれます。</li> <li>・先生方の努力や工夫により、多くの生徒が夢や目標を持つことができていると思えます。</li> </ul>
エ	<p>課題発見・解決力、論理的思考力・規範的判断力、国際感覚等を備えた人材を育成するための探究的な学び・協働的な学びの深化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が論理的思考力等を高めることにつながっていると答える生徒 90%以上※</li> <li>・英語力や国際性が高まったと考える保護者の割合 60%以上※</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のアンケート調査で「授業が論理的思考力を高めることにつながっている」と90%以上が回答していることから、目標を達成できていると考えられる。保護者は「もっともっと」と望む傾向がみられ目標達成度が低くなるのではないかと。</li> <li>・今の子供たちは理論、理屈よりも体感、実感的な思考の方が強いところがあるのではないのでしょうか。その方向での指導もありではないのでしょうか。</li> <li>・課題発見・解決など、主体的思考を促す教育は素晴らしいと思います(自分の頃はあまりなかった)。</li> <li>・英語教育、国際感覚は三島北高</li> </ul>

					<p>のトレードマークと言われるくらい、特化できないまでも重点的に注力したらよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代に身につけた英語力が実社会における実践力につながっているかどうかについて、不足があるかという印象。論理的思考についても同様。</li> <li>・論理的思考力が高まったかどうかを生徒自身が判断するのは、かなり難しいのではないかと感じます。</li> </ul>
オ	<p>家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学させて良かったと答える保護者 80%以上※</li> <li>・一日体験入学の参加中学生 1000人以上</li> <li>・情報発信に熱心であると答える保護者 70%以上※</li> <li>・地域や社会の課題に対する意識が高まった生徒 60%以上※</li> <li>・年3回の協議会開催</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携し、地域に根差した学校という印象があり、保護者も熱心に学校と協力していると思われる。中学生の体験入学者が多く、人気があるのが嬉しい。</li> <li>・市内や近隣で開催されている各種団体のイベント等により多く体験的参加を増やす方法はどうかと思います。</li> <li>・地域社会の側からすると、地域社会の課題に対する意識を高めてもらえることはありがたいことだが、生徒にはあまり重きを置かせなくても良いと思う。</li> <li>・地域社会の活動への参画の希望があれば、運営協議会委員に申し出てもらえればお手伝いできることがあると思います。</li> <li>・地域に愛され続ける北高であるために、生徒自身の地域愛の醸成は不可欠です。地域の観光スポット巡りでも良いので、フィールドワークがもう少しできると良いです。</li> <li>・北高は、多くの中学生が目標とする、地域を代表する高校であると思います。</li> </ul>
	<p>安全・安心な学校につながる学習環境の整備・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめに関するアンケート年3回実施</li> <li>・体罰に関する指導案件なし</li> <li>・SNS 関連トラブル数前年比減</li> <li>・安全対策がしっかりできていると答える保護者 60%以上※</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」「SNS 関連トラブル」は確実に存在するが表面に現れにくい側面があり、数ではなく、内容に着目し対応や支援を話し合う機会（定期的な連絡や報告会）が重要と思われる。</li> <li>・問題が起きてから対応するのではなく予防的な対応が必要である。なぜなら、昭和時代の大人が現在の社会（SNS 関連トラブル）</li> </ul>

カ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故件数 前年比減</li> <li>・AED講習会等の実施</li> <li>・ニーズに即した予算の執行</li> </ul>	B	A	<p>の変化についていくのが難しくなっている。学校内は安全でも、一歩社会に出たら SNS を通じて犯罪に巻き込まれる可能性も大きくなっている。「闇バイト」予防に関する研修会も高校生のうちから必要になっている(実際に取り組んでいる高校もある)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代はいつ何時、事件、事故にあうかかもしれず、また思わぬ形で加害者になってしまう事も考えられます。より一層の注意喚起、と指導をお願いする所です。</li> <li>・いじめの問題や SNS でのトラブルなど、結果の数字から見れば、評価は A でよいと思います。先生方のご苦勞は相当なものだと思います。</li> <li>・ヘルメットの着用率の問題は、大人が守らないことなのであまり強く言えませが、何か良い工夫、アイデアはないものでしょうか。</li> <li>・安全・安心な環境づくりはしっかりとできていると思います。一方で、安全への取組に関しては、これだけやれば十分ということはないので、常に緊張感をもっていく必要があると思います。</li> </ul>
キ	<p>コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の不祥事なし</li> <li>・監査における指摘事項なし</li> <li>・時間外勤務時間の減少</li> <li>・夏季休暇取得率 100%</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、教員の隠れた努力(奉仕)によって支えられていると長年の教員生活で感じてきた。先生方は心身ともに健康だろうか？といつも気になっている。学内でハラスメントはないだろうか？(大学は多くあった)ハラスメントの通報が保証されるようなシステムはあるのだろうか？と気になる。</li> <li>・時間外勤務についてですが、教員に於かれては日常の授業の他に部活動の指導といったところも含まれていて、大変と察するところでもあります。学校側としても教員の健全性に配慮願います。</li> <li>・夏季休暇の取得率 100%には少しホッとしました。まだまだ時間外勤務を減らせる決定打は見えてきませんが、先生方の献身的</li> </ul>

様式第5号

					<p>な奮闘努力には心よりの謝意と敬意を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・働き方改革については、学校だけではどうにもできない部分もあり、本当に難しい課題であると思います。</li></ul>
--	--	--	--	--	---